

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2005・10



まちのり



青少年科学館天文指導員

しまだ かずひろ
嶋田 和浩さん(30)

青少年科学館では、学生ボランティアの協力を得て天文普及活動を行っており、平成17年度は44人の方が天文指導員として活躍しています(今年度の募集は終了しました)。

嶋田さんお気に入りの星座は自分の誕生月の星座であるみずがめ座。みずがめ座には一等星が含まれていないため、慣れないと探しにくく、たどりづらい星座です。今ぐらいの時期、夜9時ごろに南の空で見ることができます。市内でお薦めの観察スポットは、滝野、豊平峡、中山峠、手稲区曙です。

流星群に魅せられ、今春から青少年科学館天文指導員として活動を行っているのが、琴似在住の嶋田和浩さんです。医学生として多忙な毎日の中、ボランティアをしています。嶋田さんは三、四歳ごろから星に興味を持つようになり、小学校に入ったころには「自分で天体望遠鏡を買う」と決め、数万円の貯金をしていたほどでした。その後、興味の対象は星から離れていきましたが、昨年十二月に大学の友達に誘われて、滝野でふたご座流星群の観察会に参加。当日は、あいにくの曇り空でしたが、雲の切れ間から見えた流



■口径25cmの望遠鏡を搭載した移動天文車オリオン2世号

一生に一度の機会を楽しんでほしい

れ星に感動したといえます。寒いはずなのに「あつという間の三時間」が過ぎ、初めて見た流星群の魅力と、星の好きな仲間と観察することの楽しさに目覚めてしまったそうです。

今年四月にはその友達に誘われ、天文指導員に応募。これまで研修会や自主的な観察会のほかに、移動天文台に参加しました。移動天文台とは移動天文車と天文指導員が地域に出向き、天体望遠鏡で星を観察しながら解説を聞くことができるというものです。相手は小学生が多く、小学生と接する機会の少なかった嶋田さんは「保育士や教員を目指す仲間たちの対応から学ぶことも多い」と語ります。移動天文台の日は朝から何を話そうかと考えたり、子どもたちの元気に負けないように気合を入れたりしています。夕方の天気で天文台の開催が決まると、さらに気分を盛り上げて会場に向かいます。「天体望遠鏡で星を見る機会は一生に一度あるかどうか。来てくれた人には楽しんで帰ってほしい」と語る嶋田さん。星の勉強にも熱が入り、ますます星の魅力に取り付けられています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishid@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。